

かさの 計算

もっと応用

もう1本作れる？

なまえ _____

①mLに直す → ②とちゅうの量を出す → ③さいごのもんだいに答える

ひづけ _____

使う関係

$$1\text{L} = 10\text{dL} = 1000\text{mL}$$

$$1\text{dL} = 100\text{mL}$$

資料 同じ作り方で、スポーツドリンクを7本作ります。

1本を作るには、シロップ3dLと水1L2dLを使います。

さいごのもんだい 7本作ったあと、のこりでもう1本作れるかをたしかめる。

用意したシロップ

2L5dL

用意した水

9L

作る本数

7本

STEP 1 どの数を使うか たしかめよう

やり方： まず、1本に使う水とシロップの量を見ます。どちらもmLで考えます。

① 1本に使う水1L2dLは、何mL？

_____ mL

② 1本に使うシロップと水は、合わせて何mL？

_____ mL

STEP 2 前の答えを使って 計算しよう

やり方： 1本に使う量を7倍して、7本に使う水とシロップの量を出します。

③ 7本に使うシロップは、合わせて何mL？

_____ mL

④ 7本に使う水は、合わせて何mL？

_____ mL

STEP 3 さいごのもんだいに 答えよう

やり方： はじめにあった量から7本に使う量をひき、1本分とくらべます。

⑤ 7本作ると、水とシロップは何mLずつのこる？

_____ mLずつ

⑥ 問5ののこりで、もう1本作れる？ わけも書こう。

見直し 前のSTEPで出した答えを、つぎの計算に使えたかたしかめよう。

かさの 計算

もっと応用

びんは何本？

なまえ _____

①mLに直す → ②とちゅうの量を出す → ③さいごのもんだいに答える

ひづけ _____

使う関係

$$1\text{L} = 10\text{dL} = 1000\text{mL}$$

$$1\text{dL} = 100\text{mL}$$

資料 3つのいれものの麦茶を、50人にくばります。

1人に180mLずつくばります。とちゅうで2dLこぼれました。

さいごのもんだい のこった麦茶で、650mLのびんを何本いっぱいにするか調べる。

いれものA

4L8dL

いれものB

3L650mL

いれものC

2750mL

びん1本

650mL

STEP 1 どの数を使うか たしかめよう

やり方： いれものAをmLに直します。A・B・Cの麦茶をぜんぶ足します。

① いれものAの4L8dLは、何mL？

_____ mL

② A・B・Cの麦茶は、合わせて何mL？

_____ mL

STEP 2 前の答えを使って 計算しよう

やり方： 1人分の180mLを50倍します。麦茶ぜんぶの量からひきます。

③ 50人にくばる麦茶は、合わせて何mL？

_____ mL

④ 問2の麦茶から問3の量をひくと、何mLのこる？

_____ mL

STEP 3 さいごのもんだいに 答えよう

やり方： こぼれた2dLもひきます。のこりを650mLずつびんに入れます。

⑤ 問4ののこりから、こぼれた2dLをひくと何mL？

_____ mL

⑥ 問5の量で、650mLのびんは何本いっぱいになる？ のこりは？

見直し 前のSTEPで出した答えを、つぎの計算に使えたかたしかめよう。

かさの 計算

もっと応用

何mL出す？

なまえ _____

①mLに直す → ②とちゅうの量を出す → ③さいごのもんだいに答える

ひづけ _____

使う関係

$$1\text{L} = 10\text{dL} = 1000\text{mL}$$

$$1\text{dL} = 100\text{mL}$$

資料 雨水タンクに、雨の水をためています。

タンクには5Lまで入ります。草花に水を使ったあと、また雨がふります。

さいごのもんだい 雨がふってもあふれないように、先に出す水の量を調べる。

朝の水

2L4dL

午前雨

1L750mLと8dL

草花に使う水

1L350mL

午後雨

1L650mL

STEP 1 どの数を使うか たしかめよう

やり方： 朝の水と、午前に入った雨を、どちらもmLで考えます。

① 朝の水2L4dLは、何mL？

_____ mL

② 午前に入った雨は、合わせて何mL？

_____ mL

STEP 2 前の答えを使って 計算しよう

やり方： 朝の水と午前雨を足します。そこから草花に使った水をひきます。

③ 問1の朝の水と問2の雨を足すと、何mL？

_____ mL

④ 問3の量から草花に使う水をひくと、何mLのこる？

_____ mL

STEP 3 さいごのもんだいに 答えよう

やり方： 午後にふる雨を足します。5000mLより多い分を先に出します。

⑤ 問4ののこりに午後雨を足すと、何mL？

_____ mL

⑥ 5000mLをこえないように、先に何mL出せばよい？

_____ mL

見直し 前のSTEPで出した答えを、つぎの計算に使えたかたしかめよう。

かさの 計算

もっと応用

3つをえらぼう

なまえ _____

①mLに直す → ②とちゅうの量を出す → ③さいごのもんだいに答える

ひづけ _____

使う関係

$$1\text{L} = 10\text{dL} = 1000\text{mL}$$

$$1\text{dL} = 100\text{mL}$$

資料 5つのいれものから、3つをえらびます。

えらんだ中身はぜんぶ使います。同じいれものは1回だけ使えます。

さいごのもんだい 合わせて4L750mLになる3つのいれものを見つける。

いれものA

1L2dL

いれものB

1L550mL

いれものC

2L50mL

いれものD

1L4dL

いれものE

1L8dL

STEP 1 どの数を使うか たしかめよう

やり方: まず、作りたい量をmLに直します。A・D・Eの量もmLに直します。

1 作りたい4L750mLは、何mL?

_____ mL

2 いれものA・D・Eは、それぞれ何mL?

_____ mLずつ

STEP 2 前の答えを使って 計算しよう

やり方: BとDを足します。作りたい量まで、あと何mLいるかを出します。

3 いれものBとDを足すと、何mL?

_____ mL

4 4750mLまで、あと何mLいる?

_____ mL

STEP 3 さいごのもんだいに 答えよう

やり方: 問4と同じ量を表からさがします。B・Dと足してたしかめます。

5 A～Eの中で、問4と同じ量のいれものはどれ?

6 B・Dと問5のいれものを足そう。どの3つをえらぶ?

見直し 前のSTEPで出した答えを、つぎの計算に使えたかたしかめよう。

かさの 計算

もっと応用

分けたあとのこり

なまえ _____

①mLに直す → ②とちゅうの量を出す → ③さいごのもんだいに答える

ひづけ _____

使う関係

$$1\text{L} = 10\text{dL} = 1000\text{mL}$$

$$1\text{dL} = 100\text{mL}$$

資料 5L6dLのフルーツティーを、8本のびんに同じ量ずつ分けます。

そのあと、びん1本から2dLのコップ3はい分をくばります。

さいごのもんだい 8本ののこりをぜんぶ集め、200mLのコップを何ばい作れるか調べる。

フルーツティー

5L6dL

びん

8本

コップ1ばい

2dL

1本からくばる数

3ばい

STEP 1 どの数を使うか たしかめよう

やり方： フルーツティーをmLに直します。それを8本に同じ量ずつ分けます。

① フルーツティー5L6dLは、何mL？

_____ mL

② 問1の5600mLを8本に分けると、1本は何mL？

_____ mL

STEP 2 前の答えを使って 計算しよう

やり方： びん1本からくばる量を出します。びん1本の量からひきます。

③ 1本から2dLを3ばいくばると、何mL使う？

_____ mL

④ 問2の1本分から問3をひくと、何mLのこる？

_____ mL

STEP 3 さいごのもんだいに 答えよう

やり方： びん1本ののこりを8倍します。200mLずつ何ばいに分けられるか考えます。

⑤ 問4ののこりを8本分集めると、何mL？

_____ mL

⑥ 問5の800mLを200mLずつ分けると、何ばいできる？

_____ はい

見直し 前のSTEPで出した答えを、つぎの計算に使えたかたしかめよう。

かさの 計算

もっと応用

もう1本作れる？

答え

①mLに直す → ②とちゅうの量を出す → ③さいごのもんだいに答える

使う関係

$$1\text{L} = 10\text{dL} = 1000\text{mL}$$

$$1\text{dL} = 100\text{mL}$$

資料 同じ作り方で、スポーツドリンクを7本作ります。

1本を作るには、シロップ3dLと水1L2dLを使います。

さいごのもんだい 7本作ったあと、のこりでもう1本作れるかをたしかめる。

用意したシロップ

2L5dL

用意した水

9L

作る本数

7本

STEP 1 どの数を使うか たしかめよう

やり方： まず、1本に使う水とシロップの量を見ます。どちらもmLで考えます。

1 1本に使う水1L2dLは、何mL？

$$1\text{L}2\text{dL} = 1200\text{mL}$$

1200mL

2 1本に使うシロップと水は、合わせて何mL？

$$300 + 1200 = 1500$$

1500mL

STEP 2 前の答えを使って 計算しよう

やり方： 1本に使う量を7倍して、7本に使う水とシロップの量を出します。

3 7本に使うシロップは、合わせて何mL？

$$300 \times 7 = 2100$$

2100mL

4 7本に使う水は、合わせて何mL？

$$1200 \times 7 = 8400$$

8400mL

STEP 3 さいごのもんだいに 答えよう

やり方： はじめにあった量から7本に使う量をひき、1本分とくらべます。

5 7本作ると、水とシロップは何mLずつのこる？

$$2500 - 2100 = 400, 9000 - 8400 = 600$$

400mL・600mL

6 問5ののこりで、もう1本作れる？ わけも書こう。

水は1200mLいるが、600mLしか残らない

作れない

考え方 どの数を使ったか、式を上からじゅんにたしかめよう。

かさの 計算

もっと応用

びんは何本？

答え

①mLに直す → ②とちゅうの量を出す → ③さいごのもんだいに答える

使う関係

$$1\text{L} = 10\text{dL} = 1000\text{mL}$$

$$1\text{dL} = 100\text{mL}$$

資料 3つのいれものの麦茶を、50人にくばります。

1人に180mLずつくばります。とちゅうで2dLこぼれました。

さいごのもんだい のこった麦茶で、650mLのびんを何本いっぱいにできるか調べる。

いれものA

4L8dL

いれものB

3L650mL

いれものC

2750mL

びん1本

650mL

STEP 1 どの数を使うか たしかめよう

やり方： いれものAをmLに直します。A・B・Cの麦茶をぜんぶ足します。

1 いれものAの4L8dLは、何mL？

$$4\text{L}8\text{dL} = 4800\text{mL}$$

4800mL

2 A・B・Cの麦茶は、合わせて何mL？

$$4800 + 3650 + 2750 = 11200$$

11200mL

STEP 2 前の答えを使って 計算しよう

やり方： 1人分の180mLを50倍します。麦茶ぜんぶの量からひきます。

3 50人にくばる麦茶は、合わせて何mL？

$$180 \times 50 = 9000$$

9000mL

4 問2の麦茶から問3の量をひくと、何mLのこり？

$$11200 - 9000 = 2200$$

2200mL

STEP 3 さいごのもんだいに 答えよう

やり方： こぼれた2dLもひきます。のこりを650mLずつびんに入れます。

5 問4ののこりから、こぼれた2dLをひくと何mL？

$$2200 - 200 = 2000$$

2000mL

6 問5の量で、650mLのびんは何本いっぱいになる？ のこりは？

$$650 \times 3 = 1950, 2000 - 1950 = 50$$

3本・50mL

考え方 どの数を使ったか、式を上からじゅんにたしかめよう。

かさの 計算

もっと応用

何mL出す？

答え

①mLに直す → ②とちゅうの量を出す → ③さいごのもんだいに答える

使う関係

$$1\text{L} = 10\text{dL} = 1000\text{mL}$$

$$1\text{dL} = 100\text{mL}$$

資料 雨水タンクに、雨の水をためています。

タンクには5Lまで入ります。草花に水を使ったあと、また雨がふります。

さいごのもんだい 雨がふってもあふれないように、先に出す水の量を調べる。

朝の水

2L4dL

午前雨

1L750mLと8dL

草花に使う水

1L350mL

午後雨

1L650mL

STEP 1 どの数を使うか たしかめよう

やり方： 朝の水と、午前に入った雨を、どちらもmLで考えます。

① 朝の水2L4dLは、何mL？

$$2\text{L}4\text{dL} = 2400\text{mL}$$

2400mL

② 午前に入った雨は、合わせて何mL？

$$1750 + 800 = 2550$$

2550mL

STEP 2 前の答えを使って 計算しよう

やり方： 朝の水と午前雨を足します。そこから草花に使った水をひきます。

③ 問1の朝の水と問2の雨を足すと、何mL？

$$2400 + 2550 = 4950$$

4950mL

④ 問3の量から草花に使う水をひくと、何mLのこる？

$$4950 - 1350 = 3600$$

3600mL

STEP 3 さいごのもんだいに 答えよう

やり方： 午後にふる雨を足します。5000mLより多い分を先に出します。

⑤ 問4ののこりに午後雨を足すと、何mL？

$$3600 + 1650 = 5250$$

5250mL

⑥ 5000mLをこえないように、先に何mL出せばよい？

$$5250 - 5000 = 250$$

250mL

考え方 どの数を使ったか、式を上からじゅんにたしかめよう。

かさの計算

もっと応用

3つをえらぼう

答え

①mLに直す → ②とちゅうの量を出す → ③さいごのもんだいに答える

使う関係

$$1\text{L} = 10\text{dL} = 1000\text{mL}$$

$$1\text{dL} = 100\text{mL}$$

資料 5つのいれものから、3つをえらびます。

えらんだ中身はぜんぶ使います。同じいれものは1回だけ使えます。

さいごのもんだい 合わせて4L750mLになる3つのいれものを見つける。

いれものA

1L2dL

いれものB

1L550mL

いれものC

2L50mL

いれものD

1L4dL

いれものE

1L8dL

STEP 1 どの数を使うか たしかめよう

やり方: まず、作りたい量をmLに直します。A・D・Eの量もmLに直します。

1 作りたい4L750mLは、何mL?

$$4\text{L}750\text{mL} = 4750\text{mL}$$

4750mL

2 いれものA・D・Eは、それぞれ何mL?

$$A = 1200, D = 1400, E = 1800$$

$$1200 \cdot 1400 \cdot 1800\text{mL}$$

STEP 2 前の答えを使って 計算しよう

やり方: BとDを足します。作りたい量まで、あと何mLいるかを出します。

3 いれものBとDを足すと、何mL?

$$1550 + 1400 = 2950$$

2950mL

4 4750mLまで、あと何mLいる?

$$4750 - 2950 = 1800$$

1800mL

STEP 3 さいごのもんだいに 答えよう

やり方: 問4と同じ量を表からさがします。B・Dと足してたしかめます。

5 A～Eの中で、問4と同じ量のいれものはどれ?

$$\text{いれものE} = 1\text{L}8\text{dL} = 1800\text{mL}$$

いれものE

6 B・Dと問5のいれものを足そう。どの3つをえらぶ?

$$1550 + 1400 + 1800 = 4750$$

B・D・E

考え方 どの数を使ったか、式を上からじゅんにたしかめよう。

かさの 計算

もっと応用

分けたあとのこり

答え

①mLに直す → ②とちゅうの量を出す → ③さいごのmondaiに答える

使う関係

$$1\text{L} = 10\text{dL} = 1000\text{mL}$$

$$1\text{dL} = 100\text{mL}$$

資料 5L6dLのフルーツティーを、8本のびんに同じ量ずつ分けます。

そのあと、びん1本から2dLのコップ3はい分をくばります。

さいごのmondai 8本ののこりをぜんぶ集め、200mLのコップを何ばい作れるか調べる。

フルーツティー

5L6dL

びん

8本

コップ1ばい

2dL

1本からくばる数

3ばい

STEP 1 どの数を使うか たしかめよう

やり方： フルーツティーをmLに直します。それを8本に同じ量ずつ分けます。

① フルーツティー5L6dLは、何mL？

$$5\text{L}6\text{dL} = 5600\text{mL}$$

5600mL

② 問1の5600mLを8本に分けると、1本は何mL？

$$5600 \div 8 = 700$$

700mL

STEP 2 前の答えを使って 計算しよう

やり方： びん1本からくばる量を出します。びん1本の量からひきます。

③ 1本から2dLを3ばいくばると、何mL使う？

$$200 \times 3 = 600$$

600mL

④ 問2の1本分から問3をひくと、何mLのこり？

$$700 - 600 = 100$$

100mL

STEP 3 さいごのmondaiに 答えよう

やり方： びん1本ののこりを8倍します。200mLずつ何ばいに分けられるか考えます。

⑤ 問4ののこりを8本分集めると、何mL？

$$100 \times 8 = 800$$

800mL

⑥ 問5の800mLを200mLずつ分けると、何ばいできる？

$$800 \div 200 = 4$$

4はい

考え方 どの数を使ったか、式を上からじゅんにたしかめよう。